

浜松ブランド
最前線

Brand

トリスハイボール 三ヶ日みかん缶

浜松発！ご当地ハイボールが
いよいよ全国発売



「トリスハイボール
三ヶ日みかん缶」。
冬限定で全国発売中。
350ml 160円
アルコール分5%
リキュール(発泡性)



全国にその名を轟かす、浜松の名産品・三ヶ日みかん。その歴史は今から300年前の江戸中期にさかのぼる。三ヶ日町平山地区の山田弥右衛門(やえもん)が、西国巡礼の時に紀州那智地方から「紀州ミカン」の苗木一本を持ち帰る庭の片隅に植えたところ、その甘さに魅了されて苗木を作り、次第に広がったのが始まりだ。

浜松市は年間平均気温が温暖で、日照時間は日本一長い。なかでも三ヶ日町は、耕土が浅く水はけが良いことから、みかん栽培に適している。静岡県内で最もみかんの出荷量が多く、良品質で味の安定したブランド「三ヶ日みかん」として全国的な人気を誇る。

2011年にはJAみっかびとサントリの連動で、静岡県ご当地ハイボール三ヶ日みかんハイボールを飲食店を中心に発売。静岡県内での2012年9月末までの取扱店舗数は1,200店にまで拡大した。爽やかな味わいで好評を博し、12月4日(火)からは「トリスハイボール 三ヶ日みかん缶」が全国で冬季限定発売されている。

ハイボールといえば40代以降にとつては「懐かしい」と感じる飲み物だが近

年は若い層を中心に広がりを見せ、酒場の新たなスタイルとして定着した。「JAみっかび推奨」のハイボールとして承認された三ヶ日みかんハイボールは、酸味と甘みのバランスの良さが特長で、ウイスキーにはなじみのない女性からも支持されている。続々と発売されるサントリのご当地ハイボールの中では最大級の取り扱いで、缶飲料として販売するのは今回が2例目。ますます拡大を続けるハイボール市場にあやかり、三ヶ日みかんもさらなる人気を呼びそうだ。

仕事中にリフレッシュ 「オフィスみかん」

JAみっかびが野菜ソムリエとタッグを組んだ、新しいプロジェクト「オフィスみかん」。職場にみかんを置いて、小腹が空いたときにお菓子の代わりに食べよう、という提案で、首都圏からの注目が高まっている。ビタミンCが豊富で、美容と健康にも良いみかん。あなたの会社でも是非取り入れてみては。

■詳細はHPより
<http://officemikan.jp/>



三ヶ日みかんのおいしさが、全国に届きますように...

JAみっかび <http://www.ja-shizuoka.or.jp/mikkabi/>

はままつの
魅力、
世界に届け！

「はままつ魅力発信応援団」は、浜松市の知名度やイメージの向上を図るため、浜松市内に本社を置き、海外および市内外に営業所や支店、工場などがある企業の皆さまのネットワークを活用して、浜松の多彩な魅力を国内外に情報発信するものです。

「はままつ魅力発信応援団」としてご協力いただける企業の皆さまには、本社や営業所などでの「はままつ魅力発信応援団」のポスター掲示や「HAMAMA流(はまる)」の配付、社内報・社外報の中で浜松市の魅力の紹介などをお願いし、浜松の多彩な魅力を全国へ、そして海外へ発信していきます。

わたしたちが浜松市の魅力を全国に、そして世界に発信するお手伝いをしています。

GLUTCH
F.C.C.
TECHNOLOGY
(株)エフ・シー・シー

Ensku
エンシュウ(株)

遠鉄グループ
遠鉄グループ

KAWAI
(株)河合楽器製作所

J&Oあ浜松
JAとびあ浜松

scroll
(株)スクロール

SUZUKI
スズキ(株)

HVK
HAMAKYOREX
(株)ハマキョウレックス

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS
浜松ホトニクス(株)

浜松信用金庫
浜松信用金庫

YAMAHA
ヤマハ(株)

Roland
ローランド(株)

Roland
ローランド ディー・ジー。(株)



photo : Kiyotaka Saito

ピアニスト 仲道郁代

IKUYO NAKAMICHI

PROFILE

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、あわせて増沢賞を受賞。数々の国内外での受賞を経て、1987年ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタートさせた。これまで、国内外の主要オーケストラと数多く共演。また、「リサイタルのみならず、「ピアノとスライドでつづる動物たちの詩“光のこどもたち”」など、彼女の多彩なアイデアや情熱から生まれた企画も多い。大阪音楽大学特任教授、財団法人地域創造理事、2012年からは桐朋学園大学教授としても積極的に活動している。



photo : Kiyotaka Saito

仲道郁代オフィシャルサイト
<http://www.ikuyo-nakamichi.com/>

音楽のまち・浜松市出身の仲道郁代さん。1987年、ヨーロッパと日本でデビューして以来、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして注目を集めている。そんな仲道さんに、自身の活動と浜松市の魅力を伺った。

世界的に活躍されている仲道さんですが、これまでの歩みを振り返り、原動力となったものはなんですか？

しいていえば好奇心でしょうか。音楽に関することですと、何でもっと知りた、深めたいと思っています。

今後はどのような活動を考えていますか？
11月に、3歳から「鑑賞いただけ、ピアノとスライドが謎を解く 不思議ボール」の初演を行いました。この「不思議ボール」は田中カレンさんのお書きになった「地球」という曲集からの曲と、絵本作家の長谷川義史さんの原画によるス

ライド、演出家の内藤敬裕さん脚本による物語です。

また、2月には、サントリーホールでモーツアルトの協奏曲を「弾き振り」します。こちらは、指揮をしながらピアノを弾きます!!

仲道さんが感じる浜松市の魅力とは？
やはり温暖な気候でしょうね。そしてその気候から生まれる、のんびりした空気感と親切な人々。とてもあたたかい街です。今回のHAMMA流では、浜松市の文化芸術をテーマに取り上げています。仲道さんはクラシック従来の活動に加え、ピギ

ナーやキッズ向けに新しいスタイルのコンサートも展開されていますが、そのようなアイデアや独創性はどこから生まれるものですか？

素晴らしい音楽の世界へ入っていたいたくため、きつかけやドアは、いろいろとあったら良いと思うのです。たとえば、小さいお子さんたちには小さいお子さんなりの入り方ができないものかと考えると、アイデアも出てきます。それをスタッフ皆で形にしています。

2013年2月、浜松市民と文化人が交流を通じて地域文化の活性化を図る「工

ンジン01」に参加されますが、イベントへの意気込みをお願いします。

様々なジャンルのスペシャリストが集まるこのイベントが、浜松の方々の刺激になり、ワクワクできればよいと思います。最後に、浜松市で過ごすならどんな休日がおススメですか？

そうですね、おいしい食べ物も自然も豊富な土地ですから、素敵な過ごし方はいくつもあります。しいて言うなら、
① 中田島の浜に行つて海と砂丘を見て楽しむ、うなぎを食べてのんびりする。

② 弁天島から浜名湖へドライブする。

③ 浜松市楽器博物館を堪能する。

④ はままつフラワーパークへ遠足。

でしょうかね？特に浜松市楽器博物館は、全国で唯一の公立の楽器博物館で、東洋最大の楽器博物館でもありますので、とても見ごたえがありますよ。